



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月8日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所 東

コード番号 9945

URL <http://www.plenus.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）経営管理室長

（氏名）丸山 俊也

TEL 092(452)3678

四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日

配当支払開始予定日 平成27年11月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	73,103	△5.2	3,060	△9.5	3,250	△10.9	1,851	△10.7
27年2月期第2四半期	77,131	2.1	3,380	△11.8	3,647	△13.1	2,074	△16.4

（注）包括利益 28年2月期第2四半期 1,843百万円（△10.1%） 27年2月期第2四半期 2,049百万円（△17.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	48.42	48.34
27年2月期第2四半期	54.28	54.17

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	87,772	63,826	72.4
27年2月期	87,184	62,907	71.8

（参考）自己資本 28年2月期第2四半期 63,536百万円 27年2月期 62,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
28年2月期	—	30.00	—	—	—
28年2月期（予想）	—	—	—	33.00	63.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	△3.0	8,100	20.9	8,400	9.0	4,800	13.3	125.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	44,392,680株	27年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	6,125,806株	27年2月期	6,174,610株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	38,242,193株	27年2月期2Q	38,218,175株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成27年10月14日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善する中、設備投資にも持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の減速の動きが強まり生産や輸出が弱含む等、力強さを欠きました。

当外食産業におきましては、人手不足の状況が継続し、また、個人消費の回復の動きが弱まる等、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を行うと共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」及び「やよい軒事業」においてフランチャイズ展開を推進し、さらなる事業基盤の強化に向けて活動しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、731億3百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は30億60百万円(前年同期比9.5%減)、経常利益は32億50百万円(前年同期比10.9%減)、四半期純利益は18億51百万円(前年同期比10.7%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で、前年同期実績を下回りました。利益面につきましては、直営店舗の原価改善や、広告宣伝費等のコストの効率化を図ったものの、既存店売上高の減少の影響が大きく、前年同期実績を下回りました。

[国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,728店	35店	65店	2,698店	96店
やよい軒	274店	9店	—	283店	13店
MKレストラン	31店	—	1店	30店	2店
合計	3,033店	44店	66店	3,011店	111店

[海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	6店	1店	1店	6店
	韓国	4店	1店	1店	4店
やよい軒	タイ	129店	6店	—	135店
	シンガポール	6店	—	—	6店
	オーストラリア	1店	1店	—	2店
	台湾	2店	1店	—	3店
合計	—	148店	10店	2店	156店

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

店内調理による手づくりの特長を活かしつつ、「健康」をテーマとした様々な取り組みを行いました。お客様のより健康的な食生活を支えることが出来るよう、商品の製造工程や調理工程を見直し、本年4月より全弁当メニューを対象に減塩を実施しました。また、低カロリーで野菜をたっぷり使用した「タニタ監修弁当」の販売を全国に広げると共に、栄養のバランスがよいメニューを日替わりで提供する「Bento5」を発売する等、健康志向のお客様への訴求を図りました。さらに、全国9地区で、それぞれの地域に根付いた料理を商品化した「ご当地弁当」を発売する等、幅広いお客様のニーズへの対応も図りました。

本年6月には、地域により人件費や地代家賃等の店舗運営に係るコストが異なる状況に対応するため、三大都市圏にて一部商品の価格改定を実施しました。

加えて、店舗収益力の一層の強化を図るため、店舗の改装・移転を積極的に行うと共に、不採算店舗の早期退店を進めました。また、一部店舗に券売機を導入する等、新たな取り組みも開始しました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組みました。

しかしながら、既存店売上高は、前年同期比94.9%となりました。

以上の結果、売上高は、573億98百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は20億84百万円(前年同期比17.5%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、直営店舗の原価改善や、広告宣伝費等のコストの効率化を図ったものの、既存店売上高の減少の影響が大きく、前年同期実績を下回りました。

【やよい軒事業】

素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「ゴーヤーちゃんぷる一定食」や「ひつまぶし定食」等の郷土性や季節感を取り入れた商品やボリューム感ある商品を発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

また、フランチャイズ展開を推進するため、新規オーナーの募集を行い、加盟店の増加に努めました。

店舗展開につきましては、初めて沖縄県に出店する等、事業展開エリアを着実に広げております。

しかしながら、既存店売上高は、前年同期比98.4%となりました。

以上の結果、売上高は140億5百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は9億4百万円(前年同期比3.6%減)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、既存店売上高の減少により、前年同期実績を下回りました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶やランチセットも取り揃え、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。お客様に「MK鍋」をよりお楽しみいただけるよう、2種類のスープを選べる仕切鍋を導入した他、一部店舗で寿司食べ放題のメニューを開始する等の取り組みも実施しました。また、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映や携帯電話・スマートフォンを利用した「MKポイントサービス」会員の獲得にも注力する等、お客様の来店促進を図りました。

これらにより、既存店売上高は前年同期比106.0%と好調に推移しました。

以上の結果、売上高は16億99百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は1億42百万円(前年同期は11百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億88百万円増加し、877億72百万円となりました。内訳は、流動資産3億93百万円の減少、固定資産9億81百万円の増加であります。流動資産の減少は、現金及び預金7億60百万円の減少、商品及び製品6億94百万円の増加、未収入金2億67百万円の減少などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産8億60百万円の増加、投資その他の資産1億58百万円の増加などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億30百万円減少し、239億45百万円となりました。内訳は、流動負債1億66百万円の増加、固定負債4億97百万円の減少であります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金10億29百万円の増加、未払法人税等8億39百万円の増加、未払消費税等8億21百万円の減少、未払金7億65百万円の減少などによるものです。固定負債の減少は、長期未払金4億5百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億19百万円増加し、638億26百万円となりました。内訳は、利益剰余金が四半期純利益により18億51百万円増加、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ19億73百万円減少し、145億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ4億16百万円減少し、41億74百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益28億89百万円、減価償却費23億89百万円、たな卸資産の増加額6億94百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ14億84百万円増加し、52億9百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出97億円及び払戻による収入84億96百万円、有形固定資産の取得による支出35億76百万円、関係会社株式の取得による支出3億6百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円増加し、9億65百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払いによる支出9億55百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月10日に公表しました数値から修正しております。詳細は、本日開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,748	22,988
受取手形及び売掛金	2,343	2,234
商品及び製品	5,357	6,052
原材料及び貯蔵品	49	50
その他	2,944	2,648
貸倒引当金	△163	△85
流動資産合計	34,281	33,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,665	27,362
その他(純額)	10,152	10,315
有形固定資産合計	36,817	37,678
無形固定資産		
	501	463
投資その他の資産		
その他	15,603	15,764
貸倒引当金	△19	△21
投資その他の資産合計	15,584	15,742
固定資産合計	52,903	53,884
資産合計	87,184	87,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,912	5,942
未払法人税等	310	1,150
賞与引当金	319	430
ポイント引当金	95	93
株主優待引当金	76	50
資産除去債務	22	31
その他	9,686	7,891
流動負債合計	15,424	15,590
固定負債		
資産除去債務	4,357	4,461
その他	4,494	3,894
固定負債合計	8,852	8,355
負債合計	24,276	23,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,916	4,888
利益剰余金	66,157	67,054
自己株式	△12,035	△11,940
株主資本合計	62,500	63,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	28
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	39	41
その他の包括利益累計額合計	60	73
新株予約権	235	200
少数株主持分	110	89
純資産合計	62,907	63,826
負債純資産合計	87,184	87,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	77,131	73,103
売上原価	35,768	33,124
売上総利益	41,362	39,979
販売費及び一般管理費	37,982	36,919
営業利益	3,380	3,060
営業外収益		
受取利息	32	35
受取配当金	7	3
為替差益	78	38
固定資産賃貸料	78	78
持分法による投資利益	8	7
その他	98	126
営業外収益合計	304	290
営業外費用		
固定資産賃貸費用	19	15
保険解約損	—	64
その他	17	20
営業外費用合計	37	99
経常利益	3,647	3,250
特別利益		
固定資産売却益	4	3
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産処分損	161	156
減損損失	123	194
その他	3	13
特別損失合計	288	364
税金等調整前四半期純利益	3,363	2,889
法人税等	1,298	1,060
少数株主損益調整前四半期純利益	2,064	1,829
少数株主損失(△)	△10	△22
四半期純利益	2,074	1,851

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,064	1,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	9
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	△16	3
その他の包括利益合計	△14	14
四半期包括利益	2,049	1,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,067	1,864
少数株主に係る四半期包括利益	△17	△20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,363	2,889
減価償却費	2,288	2,389
減損損失	123	194
株式報酬費用	46	31
持分法による投資損益(△は益)	△8	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	106	111
ポイント引当金の増減額(△は減少)	0	△2
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△61	△26
受取利息及び受取配当金	△39	△38
為替差損益(△は益)	△70	△33
有形及び無形固定資産処分損益(△は益)	156	152
売上債権の増減額(△は増加)	△568	109
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,854	△694
仕入債務の増減額(△は減少)	1,664	1,029
その他	1,208	△1,660
小計	6,339	4,383
利息及び配当金の受取額	43	23
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,791	△231
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,591	4,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,000	△9,700
定期預金の払戻による収入	5,000	8,496
有形固定資産の取得による支出	△4,138	△3,576
有形固定資産の除却による支出	△107	△175
有形固定資産の売却による収入	18	6
無形固定資産の取得による支出	△69	△38
貸付けによる支出	△158	△275
貸付金の回収による収入	139	269
差入保証金の差入による支出	△220	△150
差入保証金の回収による収入	112	166
関係会社株式の取得による支出	△258	△306
その他	△42	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,725	△5,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△956	△955
その他	△7	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△964	△965
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36	△1,973
現金及び現金同等物の期首残高	15,117	16,549
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	147	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,228	14,576

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつと 事業	やよい軒事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	61,832	13,668	1,629	77,131	—	77,131
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	61,832	13,668	1,629	77,131	—	77,131
セグメント利益	2,527	938	11	3,476	△96	3,380

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつと 事業	やよい軒事業	MKレスト ラン事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	57,398	14,005	1,699	73,103	—	73,103
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	57,398	14,005	1,699	73,103	—	73,103
セグメント利益	2,084	904	142	3,131	△71	3,060

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。